

# 地域の在り方

## ～やっさ祭りの将来像を提案しよう～

本単元で育成する資質・能力

課題発見・解決力 主体性 コミュニケーション能力

日時 令和2年11月20日(金) 5校時  
学年 第2学年 男子6名, 女子8名, 計14名

### 1 単元について

#### (1) 単元観

本単元は、中学校学習指導要領(平成29年度告示) 社会 地理的分野(4)地域の在り方を受けて設定した単元である。本単元では、「地域の在り方を、地域の結び付きや地域の変容、持続可能性などに着目し、そこで見られる地理的な課題について多面的・多角的に考察、構想し、表現する」ことを目指している。

地域の在り方を考察、構想、表現するにあたって、課題を「生徒たちの生活する町の祭りの将来像を考える」に設定した。そうすることによって、生徒が生活している地域への関心を高めるとともに、地域の持続可能性について考えることができるため、課題解決の取組や課題解決に向けて構想したことを適切に表現し、将来に生かそうとする態度を養うことに適した単元であると考えている。

#### (2) 本単元において育成しようとする資質・能力とのかかわり

本校として、以下の資質・能力の育成に重点を置いている。

【スキル】	① コミュニケーション能力	② 課題発見・解決力
【意欲・態度】	③ 主体性	
【価値観・倫理観】	④ 自己理解	

この中から、本単元において育成しようとする資質・能力とのかかわりについて、次の3点に重点を置くものとする。

#### 【スキル】

##### ① コミュニケーション能力

自分の考えをはっきり伝えるとともに、他者の考えを尊重し、共感的に話し合うことができることを目標とする。本単元では、「学び合い」の学習の中で自分の考えを相手にわかりやすく伝えたり、相手の意見を取り入れたりできるように指導する。

## ② 課題発見・解決力

収集した情報を基に、他の人の意見を参考にしながら自分の考えを創り上げていくことを目標とする。その際、三原市の地域的特色に触れながら自分の意見を構築する学習を取り入れることで、課題にあった解決策を提案する力を身に付けることができるよう指導する。

### 【意欲・態度】

#### ③主体性

課題に対して、自分の考えを持ち、自ら進んで取り組もうとすることを通して、地域社会の一員として行動しようとする態度を養うことを目標とする。本単元では、物事を自分のこととして捉え、積極的に「学び合い」の活動に参加し、自分の考えをまとめていくように指導する。

## (3) 生徒観（調査結果から見る課題）

社会科に関して本学年の生徒に意識調査をした結果が以下の通りである。（肯定的評価）

- ①授業では、解決しようとする課題について、「なぜだろう」、「やってみたい」と思います。(71.4%)
- ②授業では、課題を解決するために、進んで、資料を集めたり取材をしたりしています。(28.6%)
- ③授業では、調べたことなどを、図、グラフ、表などにまとめています。(28.6%)
- ④授業では、情報を、比較したり、分類したり、関係を見付けたりして、何がわかるのかを考えています。(85.7%)
- ⑤授業では、自分の考えを積極的に伝えていきます。(64.3%)
- ⑥授業では、自分の考えとその理由を明らかにして、相手に分かりやすく伝えるように発表を工夫しています。(50.0%)
- ⑦ふだんの生活や学習の中で、これまでに学習した内容や学習の進め方を使っています。(71.4%)
- ⑧授業では、友だちと話し合うなどして、自分の考えを深めたり、広げたりしています。(78.6%)

本学年の生徒は、質問項目①から、解決する課題について意欲的に学習に取り組んでいるといえる。その態度が、質問項目⑦・⑧のような、日常での学習や他者との学び合いにも肯定的な形で結びついていると考えられる。しかし、質問項目②・③では、資料を進んで集めたり、集めたことをまとめたりすることにはまだまだ課題が残る結果となった。社会科の特性上、資料を用いて学習を進めることによって、学習の広がりや深まりを期待できる。そのため、本単元では、生徒自らが課題解決のために必要な情報を選択・収集し、活用して課題解決をするという手立てから、生徒の資料活用能力を育成していくことを目指していく。

## (4) 指導観（指導改善のポイント）

本校では、各教科で「一人も見捨てない」「全員が課題を達成する」という視点で「学び合い」を行っている。「学び合い」とは、生徒たちは、課題達成のために、他の生徒たちにわからないところを聞き、またわかった生徒は、わからない生徒に教えるという活動である。課題追究に向けての情報整理をする中で、この「学び合い」の活動を取り入れ、生徒の考えを広げ、深めていくことを目指していく。

## 2 単元の目標と評価規準

### (1) 単元の目標

観光・伝統行事の視点から身近な地域の持続可能性について学び、その魅力や課題を知り、将来像を考えることを通して、自分たちが住む地域への参画意識を養い、課題解決能力の向上をはかる。

### (2) 単元の評価規準

ア 社会的事象への 関心・意欲・態度	イ 社会的な 思考・判断・表現	ウ 資料活用の技能	エ 社会的事象について の知識・理解
①自分たちが住む地域について関心を高め、自分が地域社会に参画する方法や地域の将来について意欲的に追究しようとしている。	①身近な地域の在り方を、他地域の学習を基に考え、その過程や結果を適切に表現している。	①学習課題を追究するために、様々な資料を収集している。 ②有用な情報を適切に選択して、図や表にまとめている。	①身近な地域の地域的特色について理解し、その知識を身に着けている。 ②地域的な課題の解決に向けて考察、構想したことを適切に説明、議論しまとめる手法について理解している。

### 3 指導と評価の計画

(全5時間)

次	学 習 内 容	評 価					
		関	思	技	知	評価規準	評価方法
1	<b>課題の設定</b> 「三原やっさ祭」持続の取組と将来像について課題を設定する。	◎				◎自分たちが住む三原市の祭の将来の可能性について、考えようとしている。	ア① (行動観察)
<b>【単元を貫く課題】</b> 三原やっさ祭り振興協議会の一員として、やっさ祭りを持続していくためのこれからのあり方について、三原市の地域の特色をふまえてアイデアを提案しよう。							
2	<b>情報の収集</b> 三原市の地域的特色ややっさ祭りの特徴について調べ、課題を見出す。			○	◎	○学習課題を追究するために、様々な資料を収集している。 ◎身近な地域の地域的特色について理解し、その知識を身に付けている。	ウ① (ワークシート) エ① (ワークシート)
3	<b>整理・分析</b> 前単元で学んだ「東北地方の伝統行事を支える工夫」を、三原市に応用して、レポートにまとめる情報を整理する。		◎	○		○有用な情報を適切に選択して、図や表にまとめている。 ◎三原の祭りの在り方を、他地域の学習を基に考え、その過程や結果を適切に表現している。	ウ② (ワークシート) イ① (レポート)
<b>「学び合い」を取り入れた授業</b>							
4	<b>創造・表現</b> ・提案をレポートにまとめ、発表する。 ・発表者の提案を評価する。			◎	○	◎有用な情報を適切に選択して、図や表にまとめている。 ○地域的な課題の解決に向けて考察、構想したことを適切に説明、議論しまとめる手法について理解している。	ウ② (レポート) エ② (行動観察)
5	<b>実行・振り返り</b> ・レポートを再考し、交流する。 ・作成したレポートをもとに、学習のふりかえりをする。	◎				◎三原市に住む住民として、地域の将来や自分が地域のためにできることを考え、行動に移す意欲をもっている。	ア① (行動観察)



## 4 本時の学習

### (1) 本時の目標

東北地方で学習した、伝統行事を持続させるための視点を応用し、三原市の地域の特色をふまえて、三原市の祭りを持続させていく取組についてアイデアをまとめる。

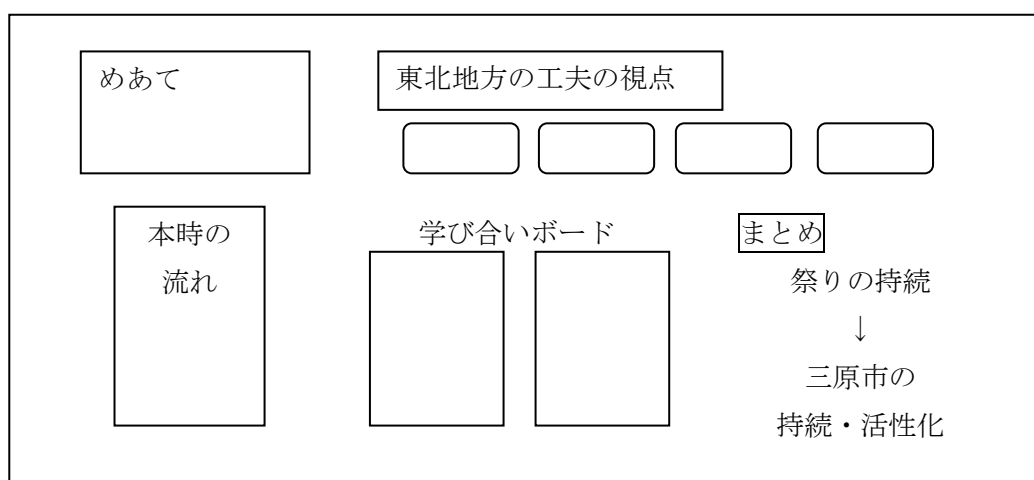
### (2) 準備物 教科書・ワーク・ファイル・プリント

### (3) 本時の学習展開 (3 / 5 時間)

段階	学習活動	学習形態	教師の支援の在り方 (努力を要する生徒への指導の手立て ◆) 評価規準 (■)	配時
導入	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <b>本時の学習計画の確認</b> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>本時のめあての確認をする。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <b>【本時のめあて】 やっさ祭りを持続させていくための取組についてアイデアをまとめよう。</b> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>本時の学習の流れの確認をする。</li> </ul>	一斉	<ul style="list-style-type: none"> <li>前時の授業の復習をする。東北地方の伝統行事を支える工夫についての視点を確認する。</li> </ul>	5
展開①	東北地方の伝統行事を支える工夫から、三原市に応用できる視点を3つ選び、その視点についてのアイデアを出す。 <div style="text-align: right; margin-top: 20px;">  </div>	個人	<ul style="list-style-type: none"> <li>視点を選んで考えさせる。</li> <li>個人で考える時間をとる。</li> </ul> <p>■ 有用な情報を適切に選択して、図や表にまとめている。 (ワークシート/ウ②)</p>	10
展開②	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <b>学び合い</b> </div> 全員が3つの視点についてのアイデアが完成するように「学び合い」で学習する。 <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; width: fit-content; margin: 20px auto;">             全員が名前カードを黒板に貼ることができる           </div>	学び合い	<ul style="list-style-type: none"> <li>○東北地方の工夫や、他者の考えをヒントにしなが、自らの考えを構築させる。</li> <li>■三原の祭りの在り方を、他地域の学習を基に考え、その過程や結果を適切に表現している。 (ワークシート/イ①)</li> <li>◆考え方が分からなければ、聞きやすい人に聞きに行かせる。</li> <li>◆できた生徒には、カードが移動していない生徒のところへ行って考え方を説明させる。</li> </ul>	20

展開③	完成したアイデアをグループ内で交流し、自分にはなかった考えや納得した考えをメモする。	グループ	・自分にはなかった考え方やアイデアに気付かせる。	10
まとめ	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">振り返り</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習のまとめをする。</li> <li>・レポートの骨子を書く。</li> </ul>	一斉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学び合いの活動状況に関してコメントする。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; display: inline-block; margin-top: 10px;">自己存在感</div>	5

#### (4) 板書計画



## 5 単元の終末における評価

単元を貫く課題	評価基準	
三原やっさ祭り振興協議会の一員として、やっさ祭りを持続していくためのこれからのあり方について、三原市の地域の特色をふまえてアイデアを提案しよう。	A	東北地方の取組や三原市の地域的特色をふまえて、やっさ祭りの将来像を考え、説得力のある文章でアイデアを提案している。
	B	やっさ祭りの将来像を提案している。
	C	アイデアを提案することができていない。

### 【単元を貫く課題に対する、期待される生徒の答え (A 評価)】

東北地方は、祭り自体の観光化を行っており、同時にグルメフェスタなどのイベントを開催し、集客を図っている。三原市は、JR・高速道路・空港・港などの交通網が整っているため、交通を活かしてやっさ祭りの観光化を進めることができると考える。例えば、JRでのお得切符の販売が考えられる。そうすることで、三原の町の良さが広まり、三原の町の活性化も目指すことができる。